

岡崎市ゼロ予算事業

この表は、令和8年度に実施するゼロ予算事業のうち、開始年度が令和4年度以降(5年間分)の事業を掲載しています。

番号	分類	事業名	対象者	事業の内容	事業の成果	開始年度	担当課
1	市民サービス向上	国際理解推進講座	市民	外国語や海外文化を外国人から気軽に学べる講座のうち、6言語(ポルトガル語、フィリピン語、ベトナム語、中国語、英語、スペイン語)については、市の多文化共生専門員が講師役を務める。	6言語は本市在住外国人の出身国割合から見て利用頻度が高く、学習機会提供により市民の国際理解が深まり、多文化共生を推進することができる。	令和 5 年度	多様性社会推進課
2	市民サービス向上	岡崎多様な働き方推進事業者認証制度(ウィズ認証)	市民・事業者	「女性活躍推進」、「仕事と家庭の両立」及び「多様な人材の活躍」等、誰もが働きやすい職場づくりに積極的に取り組む市内事業者を認証する。	誰もが働きやすい職場環境の整備に対する市内事業者の機運が高まる。また、認証事業者を就労希望者、学生等に広く紹介することにより地域雇用の活性化につながる。	令和 7 年度	多様性社会推進課
3	市民サービス向上	ひとり親家庭向け子どもサッカー教室	市内在住のひとり親家庭の親子(幼稚園・保育園児、小学1～4年生)	FCマルヤス岡崎との共催により、ひとり親家庭の子どもを対象としたサッカー教室を行う。	就業や家事等、日々の生活に追われがちで親子でふれあう時間をつくるのが難しいひとり親家庭を対象にサッカー教室を開催することにより、親子のふれあう機会を設けるとともに、サッカー体験を通して子どもの将来を親子で考えるきっかけをつくることができる。	令和 4 年度	子育て支援室
4	市民サービス向上	養育費・面会交流のための個別相談会	市内在住のひとり親	養育費等相談支援センターから講師を招き、ひとり親を対象とした養育費や面会交流にかかる個別相談会を開催する。	ひとり親が抱える養育費や面会交流にかかる不安や悩みを和らげるとともに、問題解決に向けた具体的な手続き等をアドバイスすることができる。	令和 5 年度	子育て支援室
5	市民サービス向上	リデュース・リユース促進事業	市民	モノを大切に長く使うことへの市民の意識向上とごみのリデュース・リユースにつなげることを目的として、「地元の掲示板 ジモティー」を運営する㈱ジモティーと、不要品の一括査定から売却までができるリユースプラットフォーム「おいくら」を運営する㈱マーケットエンタープライズの2者とリユースに関する連携協定を締結した。	ごみ処理に係る費用や二酸化炭素の削減につながる。また出品者は費用をかけずに不用品を処分することができるほか、出張買取では自分で運べない大型品も処分することができる。	令和 5 年度	ごみ対策課
6	事業手法の見直し	固定資産税、土地価格等縦覧帳簿及び家屋価格等縦覧帳簿の縦覧	固定資産税の納税者	紙で打ち出していた縦覧帳簿を、電子での閲覧へ変更する。	準備の効率化、検索の迅速化による業務の合理化につながる。	令和 4 年度	資産税課
7	事業手法の見直し	発券番号・交付番号呼出機無償提供に関する広告事業	市民	番号発券機等を購入していたが、機器の無償提供者(広告代理店)を募集し、その代わりに広告掲載を許可する方法に変更した。	通信運搬費、機器保守委託料及び機器賃借料の節減を図ることができる。	令和 4 年度	市民課
8	事業手法の見直し	窓口封筒無償提供に関する広告事業	市民	来庁者が証明書等を持ち帰る用の窓口封筒を外注していたが、広告入りに変更し、窓口封筒を広告代理店に無償提供させる。	印刷製本費の節減を図ることができる。	令和 7 年度	市民課

番号	分類	事業名	対象者	事業の内容	事業の成果	開始年度	担当課
9	PR・情報発信	SNS等を活用した商工労政課事業に関する情報の配信	市内外の方・事業者	商工労政課公式X(旧Twitter)等のSNSを活用し、産業・労働・金融施策等に関する情報を広く配信する。	商工労政課の事業に関する情報について、X(旧Twitter)等の利用により不特定多数の人に広く周知することができる。	令和 4 年度	商工労政課
10	PR・情報発信	SNS(インスタグラム、X(旧Twitter))を活用した消防に関する情報発信	市内外の方	消防本部公式インスタグラム及びX(旧Twitter)を開設し、消防に関する情報を広く配信する。	消防に関する情報(各種防災イベント、注意喚起等)について、SNSの利用により不特定多数の人に広く周知することができる。	令和 7 年度	消防総務課
11	PR・情報発信	岡崎城公園の情報発信	岡崎城公園来園者	岡崎城公園内の建物の空きスペースにおいて、発掘調査を知ってもらうため、過去に実施した成果を元にパネル展を行う。	「歴史の学習がはじまった中学生にもわかるように」をコンセプトに平易な言葉で展示パネルの作成し、発掘調査で使う道具を展示するなど、発掘に携わる職員ならではの視点で内容を工夫した常設展示を行うことで、幅広い年代の多くの方に発掘調査を知ってもらうことができる。	令和 6 年度	社会教育課
12	その他	連携協定締結機関とのタイアップ事業	事業者	連携協定締結機関(金融機関及びイオンモール岡崎)と地域産業振興や地域活性化に資する催事やセミナー等を開催する。	連携協定締結機関とタイアップ事業を行うことで、相互の持つ「強み」や「資源」を活かした質の高い支援を行うことができ、事業者の売上向上及び地域活性化について相乗効果を図ることができる。	令和 4 年度	商工労政課
13	その他	常設フードドライブの設置	市民	食品ロス削減のため、公共施設や店舗に常設の回収ボックスを設置して、家庭で使いきれずに余っている食品を回収する。	食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品を集めて、それらを必要としている人に有効に活用してもらうことで、食品廃棄物の削減につながる。	令和 6 年度	ふくし相談課 ごみ対策課